

# AGU 青山学院大学 NEWS

Vol. 1

AGUニュース創刊号 [3~4月号]  
青山学院大学・広報入試センター広報課  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
TEL.03-3409-8111 (代表)  
URL. <http://www.aoyama.ac.jp/agunews>



## TOPICS

125年の輝かしい歴史をふりかえって  
青山学院大学50周年行事

## 報告・お知らせ

2000年度一般入学試験志願者数  
青山学院大学教育ローン  
教職免許法改正

情報科学研究センター 機種変更について  
1999年度就職活動を振り返って  
1999年度資格試験合格者  
校友会・校友部

誌上公開講座 Vol.1  
青山学院の「建学の精神」は今

## INFORMATION

2000年度公開講座  
奨学金募集案内  
首都圏父母懇談会

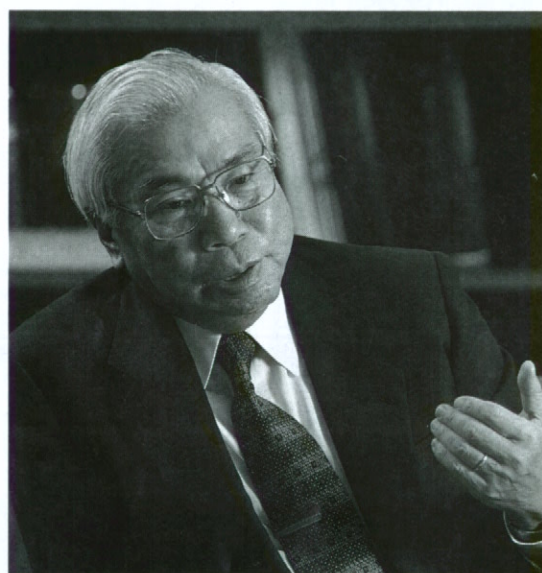
AGUニュース創刊について

## 特集

### 新学長が語る21世紀の青山学院大学 学部長●卒業生メッセージ 理工学部・学科改組

# 21世紀の青山学院大学にご期待ください。

## 新学長が語る大学改革への抱負



学長・半田正夫

私が、今後の大学運営においてもっとも重視していきたいことは「学生を大切に作る大学づくり」です。

学生が納める学費を経営基盤とする私立大学では、その運営を決して学生を抜きにして論ずることができません。そして今、学生に対する大学の「教育」の質が厳しく問われている時代です。従来、大学教員は「研究」と「教育」のうち、ともすれば自らの「研究」重視に偏りがちでした。しかし、それはむしろ逆であって、学生のニーズを考慮した「教育」重視にシフトすべきではないか、というのが私の考えです。大学教員の「研究」とは、「教育」の質を高めることにその目的を置くべきで、そうでなければこれから大学は生き残っていけないだろう、とさえ感じています。学生諸君や父母の皆様は、おそらく大学に社会のニーズにマッチした教育内容を期待されていることでしょう。そうした期待に応えることができる教育メニュー・システムを本学が提供しているかどうか……こうした考え方を基盤として、真に魅力ある授業づくり、学生が履修しやすい時間割編成など、教員一人ひとりの意識改革を図りつつ、ごくごく身近なことからはじめたいと思っています。

もちろん、2000年度よりスタートする理工学部改組など、数々の教育改革に関わる一大プロジェクトも積極的に展開していきます。たとえば、経営学部が中心に進めている「AOYAMA Cyber Campus」プロジェクトでは、インターネットによる遠隔学習システムや国内外の大学との連携なども視野に入れ、教育・研究両面において日本の大学としては最先端をいく情報環境の構築を図っています。

そして21世紀に向けて、バーチャルユニバーシティ構想、新キャンパス構想も加え、他大学とは異なる「青山学院大学の教育」を強力に打ち出していくことになるでしょう。

次に私が重視しているのは「社会へ開かれた大学づくり」です。昼夜開講制の導入や大学院の拡充など、生涯教育の時代に対応した教育システムの整備はもちろん、社会との接点をより広げていくことによって、学内の活性化を図っていききたいと考えています。かつて私は自分の専門分野である著作権問題について、外部の著名な専門家の先生方を招聘した「日本レコード協会」寄付講座を企画したことがあります。その結果、学生が教室からあふれるほど集まり、5年間という長期にわたって講座が続けられたのです。この試みは学生にとって新鮮であったばかりでなく、われわれ教員にも大きな

刺激となりました。外国人を含めた各界の専門家の方々を招き、生きた知識に触れる機会を増やしていきます。その一方で、本学の優秀な教員スタッフを他の教育機関、企業、行政、マスコミ等へ積極的に派遣し、本学を「頭脳バンク」として機能させていきたいとも考えています。また、第二部や大学院では多くの社会人学生が学んでいます。逆に教員が企業に出張してもいいかもしれません。

そして、社会との接点ということを考える時、各界でご活躍されている同窓生の方々の存在も忘れてはならないでしょう。従来の同窓会組織以上に卒業生の動向をフォローし、社会の中で本学卒業生の人的ネットワークを構築していくことも今後の大きな課題と捉えています。

昨年、青山学院創立125周年を迎えました。しかし、新制大学としては半世紀の歴史しかありません。大学としてはまだまだ青春期。伝統を大切にしながらも、全学部・学科において、社会の動向を反映させた大学改革を行っていくしなやかさは充分残されています。そして改革を進めるにあたっては、積極的な学内情報提供を図り、同窓生・父母の皆様との連携をいっそう深めていくことが大切であると考えます。ホームページと連動したこの「AGUニュース」もそうした考えのもとにスタートしました。今後、本学の教育への取り組みにつきまして、どうか皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただけますよう、お願い申し上げます。

### プロフィール

1933年(昭和8年)、北海道・札幌生まれ。1956年(昭和31年)、北海道大学法学部卒業。1961年、同大学大学院法学研究科修士課程修了。法学博士。北海学園大学専任講師、神奈川大学助教授、近畿大学助教授を経て、1971年(昭和46年)より本学法学部助教授に就任。1974年(昭和49年)より教授。法学部私法学科主任、法学部長、図書館長を歴任後、1999年12月学長に就任。1998年10月からは総合研究所長を務めており、現在も兼務。民法、著作権法に関する膨大な論文執筆のほか、わが国の著作権法研究のバイブル的存在である『著作権法の研究』(1971年・一粒社)『著作権法概説』(初版1974年・一粒社)をはじめ、『著作権法の現代的課題』『著作物の利用形態と権利保護』『やさしい担保物件法』等著書多数。わが国の著作権法学会の重鎮として、文部省著作権審議委員、著作権審議会マルチメディア小委員会主査などの政府委員、日本テレビ番組審査会、私的録音補償金管理委協会などの委員・役員として活躍。デジタル時代の著作権問題についても幅広く発言している。著作権との関わりが深いカラオケ好きとしても有名で、童謡、唱歌、歌謡曲、軍歌、クラシック歌曲までそのレパートリーは広い。過去にはカラオケ大会受賞歴も。ゼミでは「デジタル化時代における著作権法の研究」を担当し、その運営にあたっては「一生涯つきあえる友人を作ろう」がモットー。「和」を重視し、ゼミ主催のコンパ、合宿は全員参加が原則。30年近い歴史を有する名物ゼミとして、卒業生を含めた先輩・後輩の密接な人間関係が築かれている。

### 新大学執行部紹介



学務・学生担当副学長・西澤宗英

1949年(昭和24年)生まれ、慶應義塾大学大学院修士課程修了。法学博士。1993年(平成5年)本学法学部に就任。法学部私法学科主任、大学院法学研究科私法専攻主任、法学部教務主任を務めたのち、1999年(平成11年)からは法学部長、大学院法学研究科長を務め、現在も兼任。東京地方裁判所管内司法委員、八王子簡易裁判所民事調停委員などを兼任。



総務・広報担当副学長・辻正重

1940年(昭和15年)生まれ、東京工業大学大学院博士課程修了。工学博士。1972年(昭和47年)本学理工学部就任。理工学部経営工学科主任、大学院理工学研究科経営工学専攻主任、就職部支部長、情報科学研究センター所長を歴任。日本経営工学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、人工知能学会、経営情報学会に所属。



第二部担当学長補佐・林伸二

1946年(昭和21年)生まれ、神戸大学大学院博士課程単位取得退学。経営学博士。1987年(昭和62年)本学経営学部就任。1990年(平成2年)から2年間経営学部第二部経営学科主任を務める。日本経営学会、組織学会、国際ビジネス学会、労務学会に所属。

# 共に学んだ4年間で ふりかえって……。

卒業シーズン。就職や進学など新たなスタートを目前に控えた卒業生たち……。各学部の学部長の方々から卒業生に贈るメッセージを、そして卒業生のみなさんからは青山学院大学での4年間で振り返り、コメントを寄せていただきました。

文学部

## 卒業生らしい社会生活を

学部長・武藤元昭

文学部卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。多くの大学の中から青山学院大学を選び、また多くの学部の中から文学部を選んで、4年間学んだ結果は如何でしたでしょうか。実りあるものであったというお答えを信じております。

精神の荒廃が憂えられている今日、皆さんが青山学院大学の文学部で学んで得た、神の前での謙虚さ、人間への優しさなどは、社会生活の中でさまざまな形で生かされることでしょう。慎みを忘れず、ゆとりと洒落気のある人生を送ってください。時々母校の様子を気にかけてくだされば幸いです。

## 英語力と“自信”を手に入れます

英米文学科・山名しのぶ

高校時代、英語が苦手だった私。大学の授業を一つひとつ確実にこなしていくうち、自然と苦手意識がなくなり、最終的には英語をコミュニケーション手段として使いこなせるようになりました。また学科の友人たちは、みな海外志向が強く、私も自分で留学先を探し、1年間のアメリカ留学を実現。この経験が、自分に対する大きな自信につながり、4月からは語学力を生かせる職場で働くことが決まっています。



経済学部

## 「不確実と期待は人生の楽しみである」

学部長・熊谷彰矩

卒業おめでとう、と多くの人は言う。しかし、明日から始まる諸君の生活は、決して今日までのその延長ではない。我々には5年先、否1年先のことすら予測できない。明日からの現実の生活は誠に厳しく、将来は全く不透明である。

だが、諸君が本気で真正面から問題にぶつかっていくならば、素晴らしい未来が開かれるだろう。いまこの学舎を後にする諸君にはそれだけの力が備わっていると、私は信ずる。かの近代経済学の泰斗J.R.Hicksは言う、「不確実と期待は人生の楽しみである」と。諸君の健闘を切に祈るものである。

## ゼミで味わった大学生活の素晴らしさ

経済学科・小笠原崇

大学生活で有意義だったのは、ゼミで素晴らしい仲間と出会い、お互い協力しながら研究を進めたことです。また、他大学とのインターゼミに参加した経験も刺激的でした。こうしたゼミ活動を通して、



より専門分野の知識を深めていきたいと考え、大学院進学を決意。4月からゼミで学んだ価格理論を中心に研究を進めていく予定。学生が自主的に学ぶゼミ活動にこそ、大学で学ぶ大きな意味があると思います。

法学部

## 21世紀に向けて、共にチャレンジしよう

学部長・西澤宗英

昨年6月に学部長に選任されましたが、新しい半田正学長の下で、副学長としてお手伝いすることになりましたので、学部長は、この3月までということになります。

学部は、昨年開設40年を経過し、21世紀に向けて新しい歩みをはじめようとしています。前途には、とりわけロースクール構想に代表される法学教育の大改革という困難な問題が控えていますが、全教員が一丸となって、将来の法学部・研究科のために、誤りのない方向を見だしていこうとしています。卒業生の皆さんも見守っててください。

## 4年間で有意義に過ごす行動力を

私法学科・内藤志保

専門分野では商法に興味を持ち、会社法を研究テーマにしたゼミに所属して学び、卒業論文を書き上げました。また、専門分野以外に語学にも挑戦。大学2年と4年の夏休みを利用して、自分で語学学校を探してアメリカに留学しました。4年間は長いようで短い、というのが私の実感。でも、自分なりの目標や目的を持ち、自分なりのやり方で実現していく……そんな活動的な大学生活に満足しています。



経営学部

## これからの社会を創るのはみなさんです

学部長・長谷川信

経営学部生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。2000年をむかえて、日本経済はまだまだ不振から脱け出せない状況が続き、日本的経営もその変容を迫られています。しかしながら発想を転換すると、みなさんは21世紀の入口に立って、これからの新しい日本経済や企業経営のしくみをつくりあげていく、フロントランナーの位置にあります。これまでの制度や枠組みにとらわれない、若々しい斬新な発想と行動によって、経営学部卒業生のみなさんが21世紀の日本社会の担い手となっていくことを願ってやみません。

## “いい仲間”が大学生活を充実させてくれた

経営学科・森原三佳

在学中もっとも印象に残っているのは、企画スタッフとして関わった青山祭。準備段階では苦勞もありましたが、サークルの仲間と力を合わせてやりとげた達成感は、一生忘れることができない思い出です。一方、学科のゼミでは公認会計士や税理士をめざしている仲間とともに、切磋琢磨することができました。できるだけ多くのいい仲間を見つけることが、大学生活をENJOYする最大の秘訣ではないでしょうか。



国際政治経済学部

## 今、旅立とうとする諸君へ

学部長・伊藤文雄

新しい世紀を迎え、卒業生の諸君も心機一転して心を新たにしていることと思います。国際政治経済学部も21世紀から新しい旅立ちをいたします。科学技術の加速度的な発展に対応しうる教育研究体制の改革をいたしました。大学のユニバーサル化に対する学部教育の統合化、高等教育の発展に対する大学院教育の高度化です。国際政治経済学部は間もなく開設20周年を迎えようとしています。大学改革の荒海を国際政治経済学部がこれに真っ向から乗り越えていく教授陣の意気込みに負けないよう諸君も頑張ってください。

## 目標を持って、自分の可能性を広げよう

国際経営学科・絹谷健二



入学直後に、ある講義のレポートを書いたことがきっかけで、インターネットに興味のある仲間が集まりました。そして教授や院生の方々、企業スポンサーの協力によって、この仲間たちとともに日本の大学祭で初めて国内外の大学とのWebテレビ中継を実現。多くの人々が私たちの成長を見守り、可能性を伸ばしてくれた大学生活……学生各自が目標を持って過ごせば、4年間の可能性はいくらでも広がると思います。

理工学部

## 新しい時代を迎えて

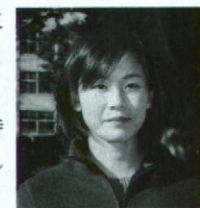
学部長・井出英人

2000年初めての卒業生となる皆様、おめでとうございます。コンピュータ誤動作問題を抱えた不安も無事クリアして新春を迎え、理工学部卒業生はきっと自信を持って新しい世界に飛び出そうと心に決めていると思います。我々教員とともに苦しみ悲しみそして楽しんだ4年間(あるいはそれ以上?)、そして本学の教育理念「愛と奉仕の精神」を胸に抱いて、新たな人生にチャレンジしてください。私共青山の教職員は皆様の御父母と同じように、一時も卒業生諸君のことは忘れません。悩み苦しんだ時、また思い出した時には、いつでもキャンパスに顔を出してください。

## 勉強も、サークル活動も全力投球

化学科・柴垣和華

授業、実験、レポート作成に必死で取り組み、4年次からは先生の丁寧な指導のもと、研究室で化学の面白さ、奥深さを実感することができました。また、4年間続け、主将を務めた「青山学院女子ラクロス」での活動も、私の大学生活で大きな位置を占めています。大学では、“受け身”でいる限り何も始まりません。何事にも積極的に参加し、4年間という時間を大いに楽しむことが重要だと実感しています。



第二部

## 希望と積極性を忘れずに

第二部担当学長補佐・林伸二

皆さん、ご卒業おめでとうございます。大学は知識の獲得、思考力の研鑽の場であると同時に、人生に悩み、「夢」をより明確に思い描く時間(とき)を与えてくれる場、そしてその実現への手がかりを与えてくれる場でもあります。そのような場として、本学が皆さんにとって有意義なものであったら幸いです。おそろくそうであつたらと確信しております。

さあ、皆さん、これからは希望を強く抱いて、積極的に生きていってください。フィンランドに次のような諺(ことわざ)があります。「幸福というチョウザメは、臆病の網ではけっして捕らえられない」

## 多くの“知恵”を与えてくれた青学の4年間

第二部経営学科・樋口秀一



これからの社会では、単なる知識より、総合的な“知恵”が重要となるはず。ゼミの韓国研修旅行や軽井沢合宿で熱いディスカッションを繰り広げたこと。懸賞論文に入選したこと。そして良き師、良き友と出会い、恵まれた人間関係を築いたこと……青学で過ごした4年間で、私は多くの“知恵”を手に入れることができました。そして、こうした経験が、今後の人生の中で大きな力になることを確信しています。



新たな世紀を見据えて、  
理工学部“情報融合系”3学科が誕生します。

社会全体が高度に情報化され、技術環境でのソフトとハードの融合が進んでいく21世紀。それは社会・経済環境におけるグローバル化の進行、自然との共存志向の高まりによって、技術者の社会性・倫理観や地球環境への意識が強く問われることになる時代でもあります。

青山学院大学では、こうした時代の要請を見据え、2000年度より理工学部の機械工学科と経営工学科の2学科を改組し、新たに“情報融合系”の3学科、機械創造工学科・経営システム工学科・情報テクノロジー学科として再編成。「Accountable Engineering」——人と社会と自然に自ら進んで責任を果たすエンジニア育成をめざし、「情報」というキーワードで学科の枠を超えて、ソフトとハードの技術を融合させる21世紀志向の教育・研究環境が世田谷キャンパスに誕生します。

### “情報融合系”3学科、それぞれの教育目標

#### ■機械創造工学科

新しい時代が求める「もの創り」を主眼とする機械工学のハード技術を原点として、「情報」と「人間」を含むソフトの技術との統合を教育基盤に、環境や社会との調和を考えた技術を創造できる21世紀志向のエンジニアを育成します。

#### ■経営システム工学科

経営工学は「人」「モノ」「カネ」「情報」を扱う自然科学と社会科学が一体化した学問分野。地球環境の保全と企業の効率追求の両立をめざし、情報技術を駆使した新しい経営システムのテクノロジーを追究します。

#### ■情報テクノロジー学科

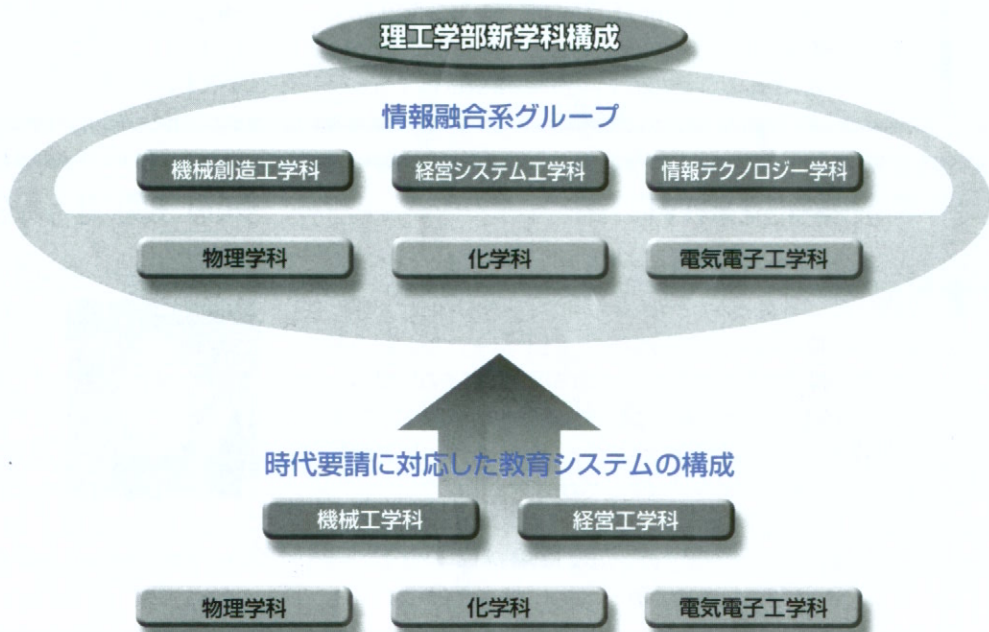
21世紀の高度情報化社会における人間を中心とした新しい情報技術の体系化をめざす学科です。特に安全で人に優しい情報システムの構築技術とその応用に重点を置いた教育・

研究を展開します。

### 3学科間でカリキュラムをオープン化

“情報融合系”という名の通り、情報技術を核として3学科のカリキュラムをオープン化し、メジャー（中心となる学問分野）とマイナー（第2の専門分野）を持つアメリカ型の大学教育に近い教育システムを構築。たとえば、どの学科に所属しても、他の2学科の専門科目を大幅に組み合わせ、複数の専門分野の技術と知識を学ぶことができ、さらに学生の希望と熱意によっては所属学科以外の研究室で卒業研究に取り組むことも可能です。学科間の教員同士の共同研究もさらに積極的に展開され、研究面における「融合」も推進。同時に専門分野への導入教育の充実にも力を入れ、新たにユニークなテーマを持つ体験型実習を導入します。

また、「技術者教育＝人間教育」という観点から、3学科それぞれの立場から社会における技術者としてのあり方を考える「機械技術と社会」「情報と社会」「社会と経営システム工学」といった講義科目を開講していることも大きな特色。その他多くの開講科目でも「人間と社会と自然のために技術を生かす」教育を徹底し、本学伝統の少人数教育によって個性、創造性、そして人間性豊かなエンジニアの育成を図っていきます。



# 125年の輝かしい歴史をふりかえって。

昨年11月16日(火)、青山学院は創立125周年を迎えました。青山学院の始まりは、1874年(明治7年)にアメリカ・メソジスト派のミッションから派遣された、当時23歳のドーラ E. スクーンメーカー女史が麻布に創立した「女子小学校」をルーツとします。その後、1878年(明治11年)にジュリアス・ソーパー博士が築地に「耕教学舎」、1879年(明治12年)にはロバート S. マクレイ博士が「美会神学校」をそれぞれ創立し、この3つの源流がひとつになって現在の



青山学院の姿があります。このうちロバート S. マクレイ博士の良き理解者だったのがジョン F. ガウチャー博士で、青山キャンパスの土地は博士の寄付により購入したものです。現在、建設中の「ガウチャー・メモリアル・ホール」は、青山学院の恩人である博士を記念して、新校舎名として命名されました。

なお、昨年開催された創立125周年記念式典、記念行事は以下の通りです。

## 【記念式典・祝賀会】

大学開設50周年記念式典と合わせて開催。式典時には、井上浩治氏(カトリック教会司祭)による記念講演「イエスと日本の心」も行われました。

開催日:1999年11月16日(火) 創立記念日

場所:青山学院講堂(式典)

アイビーホール青学会館(祝賀会)

## 【125周年記念行事】

### ●スクールモットーの制定

学院関係者や校友の方々より提言等を募集。集まったご意見を参考にして制定委員会が「地の塩、世の光(The Salt of the Earth, The Light of the World)」(マタイによる福音書第5章13~16節より)に決定し、記念式典で発表されました。

### ●懸賞作文募集

高中部生徒、初等部生徒、および校友を対象に募集。入賞者は記念式典時に表彰されました。

### ●「史料で見る青山学院125年」

展示期間:1999年9月20日(月)~12月17日(金)

場所:青山キャンパス資料センター

## 青山学院大学50周年行事

### ●学生懸賞論文募集

テーマ①「21世紀の青山学院大学像」

テーマ②「キリスト教大学の現代的課題」

上記のテーマで、大学生・大学院生を対象に募集。入賞者は記念式典時に表彰され、最優秀賞の2名が「記念シンポジウム」にパネリストとして参加しました。

### ●記念シンポジウム

テーマ①「21世紀の青山学院大学像」

開催日:1999年10月16日(土)

場所:総研ビル12階大会議室

パネリスト:小山宙丸氏(白鷗大学学長・

元早稲田大学総長)、清水畏三氏(桜美林学園理事長)、蓮舫氏(キャスター・校友)、酒井豊氏(本学文学部教授)、F.ドルヌ氏(本学文学部教授)、日向寺純雄氏(本学経済学部教授)の他、本学文学部史学科3年飯川厚氏(同テーマの学生懸賞論文最優秀賞受賞者)

コーディネーター:押村高氏

(本学国際政治経済学部教授)

テーマ②「キリスト教大学の現代的課題」

開催日:1999年10月30日(土)

場所:総研ビル12階大会議室

パネリスト:山内一郎氏(関西学院院長)、W. カリー氏(上智大学学長)、絹川正吉氏(国際

基督教大学学長)、倉松功氏(東北学院大学学長)、深町正信氏(青山学院院長)の他、本学大学院文学研究科日本文学・日本語専



攻博士後期課程3年高橋朱子氏(同テーマの学生懸賞論文最優秀賞受賞者)

コーディネーター:東方敬信氏

(本学経済学部教授)

### ●史料の展示公開

展示期間・場所:1999年7月~11月

### ●「青山学院大学五十年史」(仮称)編纂

本学初の正史として2002年度完成予定。

### ●大学マスコットのデザイン募集

聖書に登場する動物のうち「鷲」を題材に公募。学生を中心とした選考の結果、竹内隆太郎氏(1996年度経済学部卒業)の作品(右上のイラスト)に決定しました。



## 英米文学科50周年記念行事

昨年12月11日(土)、学科卒業生によるトークショーとテナーコンサートを開催。第1部トークショーのゲストは、勝部領樹氏(ジャーナリスト・元NHKキャスター)、大内順子氏(ファッション評論家・ジャーナリスト)、森村誠一氏(作家)。第2部コンサート「歌の翼で世界をめぐる」では、服部洋一氏(テノール歌手)がヨーロッパ各国の民謡や日本歌曲を披露しました。

## 経済学部50周年記念行事

昨年6月に武内武氏(大成建設(株)常勤顧問・元専務取締役、1954年経済学部卒業)、11月に石弘光氏(一橋大学学長)、そして12月にマキノ正幸氏(沖縄アクターズスクール校長、1964年経済学部卒業)を講師に迎えて、記念講演会を開催しました。

## ガウチャー・メモリアル・ホール

(表紙:写真)

青山学院大学創立50周年記念行事の一環として、青山キャンパス13号館と大学礼拝堂の跡地に建設中(2001年8月竣工予定)の新校舎です。完成時には地上13階・地下1階となる予定で、1・2階にはパイプオルガンを備えた「ガウチャー記念礼拝堂」が設置されます。

## 2000年度一般入学試験志願者数

学部・学科	募集人員	出願者数	
文学部	教育学科A	70	1,644
	教育学科B	30	699
	教育学科合計	100	2,343
	英米文学科A	190	1,868
	英米文学科B	50	806
	英米文学科合計	240	2,674
	フランス文学科A	65	679
	フランス文学科B	10	138
	フランス文学科合計	75	817
	日本文学科A	85	864
	日本文学科B	10	325
	日本文学科合計	95	1,189
	史学科	80	1,056
合計	590	8,079	
経済学部	経済学科A	300	4,809
	経済学科B	100	1,541
	合計	400	6,350
法学部	法学部A	300	3,425
	法学部B	40	180
	合計	340	3,605
経営学部	経営学科A	340	4,068
	経営学科B	30	211
	合計	370	4,279
国際政治経済学部	国際政治学科A	50	823
	国際政治学科B	13	118
	国際政治学科C	13	122
	国際政治学科合計	76	1,063
	国際経済学科A	50	509
	国際経済学科B	13	202
	国際経済学科C	13	106
	国際経済学科合計	76	817
	国際経営学科A	50	612
	国際経営学科B	14	136
	国際経営学科C	13	118
	国際経営学科合計	77	866
	合計	229	2,746
理工学部	物理学科	60	944
	化学科	60	918
	電気電子工学科	80	1,157
	機械創造工学科	50	1,062
	経営システム工学科	50	922
	情報テクノロジー学科	50	803
	合計	350	5,806
昼間部総計	2,279	30,865	

学部・学科	募集人員	出願者数	
文学部第二部	教育学科A	30	272
	教育学科B	20	93
	教育学科合計	50	365
	英米文学科A	120	303
	英米文学科B	25	85
	英米文学科合計	145	388
合計	195	753	
経済学部第二部経済学科	150	708	
経営学部第二部経営学科	120	700	
第二部総計	465	2,161	
昼間部・第二部総計	2,744	33,026	

## 青山学院大学教育ローン

本学には、学生・院生を対象とした銀行提携「教育ローン」制度があります。この制度は、青山学院と銀行が特別に提携し、無担保・低金利・在学期間中の元金返済据置き等一般的教育ローンより有利な条件を設定したものです。青山学院大学で学ぶ意志がありながら経済的理由により就学を断念することのないよう、在学中の経済的な不安を解消し勉学に専念できるよう配慮した経済支援制度です。

〔利用資格〕本学学生・院生の保護者または学生本人で、銀行の定めた資格を有することが必要です。  
〔必要書類〕本人確認資料として、印鑑証明書、住民票、運転免許証、健康保険証の写し等のいずれか一通。所得確認資料として、所得証明書、源泉徴収票等のいずれか一通。資金使途確認資料として、本学からの学費振込依頼書が必要となります。契約はすべて銀行と利用者が行います。融資は授業料または進学に必要な教育資金に限られます。各銀行によって、融資条件・金利等の契約内容に若干の差がありますので、契約する銀行に照会してください。

### 〔提携銀行〕

- さくら銀行 渋谷支店  
ローン担当係 TEL.03-3463-0102
- 富士銀行 渋谷支店  
ローン担当係 TEL.03-3400-5151
- 横浜銀行 渋谷支店  
ローン担当係 TEL.03-3463-2151

### 〔提携を予定している銀行〕(2月現在)

- 第一勧業銀行 渋谷支店  
ローン担当係 TEL.03-3462-0315
- 住友銀行 渋谷支店  
ローン担当係 TEL.03-3463-7113

〔融資の申し込みは各銀行の全支店で受け付けます。〕

## 教職免許法改正

教員養成制度の基本である教育職員免許法とその施行規則が約10年ぶりに大幅に改正され、本学では2000年度からこの新しい制度に則った課程を実施します。教員養成制度は入学年度適用ですので、すでに在籍している1999年度までの入学者と、今後数年間の編入生で1999年度以前の各年度の入学に相当する学年に在籍することになる方には、現行制度が卒業するまで適用されます。なお、卒業後に科目等履修生として免許状取得のための不足単位を修得することを考えている方へのお知らせですが、科目等履修生については、2000年度に限り、1999年度の新卒業生と1999年度から継続の科目等履修生に限り現行制度が適用され、2001年度からは新制度が適用されます。新制度は現行制度に比べ、免許法上の「教職に関する科目」に属する科目・単位数がかなり変わりますので、このことに留意して履修することが賢明です。

## 情報科学研究センター—機種変更について—

新システムの概要について、パーソナルコンピュータシステムは、Windows NT 4.0の後継OS、又は同等機能を持つOSで、UNIXワークステーションはサン・マイクロシステムズ社製のハードウェア及びオペレーティングシステムで運用します。各キャンパスの施設内のパソコン台数は現状より大幅に増設し、動画処理が可能なマルチメディア作成環境も用意します。教育・研究用パーソナルコンピュータは本体が省スペース型でCPU: Celeron466MHz以上 メモリ: 128MB HDD: 8.4GB以上で、プリンタはネットワークレザラプリンタ(デマンド方式)で、高速出力(40枚/分)が出来る機種と一部ローカルプリンタも設置します。ネットワークサービス(メール・Web)は学院内全てのユーザ利用を想定し、セキュリティを強化した、高速で信頼性のあるネットワークシステムを構築します。

# 1999年度就職活動を振り返って(中間報告)

就職協定が廃止され早くも三年目を迎えた就職戦線は、経済状態が底冷えのままで、企業側のリストラ策、採用抑制という状況での展開となりました。夏場には、全国の大学新卒予定者の求人倍率が一倍を切るという最悪の状況。学生にとっては、大逆風の年であり、就職の心構えが不十分な学生には内定結果を出すことが非常に困難となったようです。

このような状況の中で、本学学生は善戦し、文系、理系の内定企業上位30社は右記のとおりとなり、特に女子の活躍は、文系、理系とも大健闘の結果を出しました。

社会的な変化としては、男女雇用機会均等法や労働者派遣法が改正され、雇用のあり方そのものが新しいスタイルとして動き出しました。協定廃止以降、採用の早期化が進む一方、リクルーター制の廃止や大学名不問の選考、インターネットを利用した採用活動が目立ちました。特にインターネットの急速な普及で、ただ単に情報収集だけで企業研究が終わったと錯覚する学生もあり、直接的なコミュニケーション能力の必要性を十分理解することが重要です。また各企業は人物重視としながらも筆記試験の実施やエントリーシートの提出を求め、厳選採用が一段と進んだ年度でありました。

## 内定先ベスト30

2000.1月末現在/50音順

文・社会科学系		理工学系	
あさひ銀行	日本興業銀行	アルファシステムズ	日本電気ソフトウェア
アンダーセンコンサルティング	日本交通公社	NTTデータ	日本電産
NTT移動通信網	日本生命保険	NTTデータカスタマーサービス	日本電信電話
沖電気工業	日本テレコム	NTT移動通信網	日本ユニシス
キッコーマン	日本ヒューレット・パッカド	オービック	野村総合研究所
さくら銀行	日立製作所	鐘紡	萬有製薬
三和銀行	富士銀行	キヤノン	日立製作所
住友海上火災保険	富士通	コンパックコンピュータ	日立ソフトウェアエンジニアリング
住友信託銀行	三井海上火災保険	CSK	富士ソフトABC
全日本空輸	三井信託銀行	セイコーエプソン	富士通
第一生命保険	三菱信託銀行	ソニー	本田技研工業
第二電電	明治生命保険	東京三菱銀行	松下システムエンジニアリング
電通	安田火災海上保険	トータルオーエイシステムズ	メイテック
東京海上火災保険	リコー	日本アイ・ビー・エム	リコー
東京三菱銀行		日本電気	
日本アイ・ビー・エム		日本電気システム建設	

# 1999年度資格試験合格者

青山学院大学では、将来、資格を取得したい、という学生のためにいくつかの専門分野での資格取得を支援する特別講座や課外指導を実施しております。今後はさらに、資格取得に関連したカリキュラムの充実を図り、意欲的な学生の期待にしっかりと応えていきたいと考えております。

本年度は、以下に紹介されている司法試験、公認会計士試験の他に、三大難関国家試験のひとつといわれる不動産鑑定士試験においても、9名の合格者(全国大学別ランキング10位)を出すなど、本学の健闘ぶりがうかがえました。

## 本年度は7名合格。さらなる司法試験への挑戦を!

1999年に実施された司法試験においては、本学からは7名の合格者を出すことができました(全国20位)。法学部には、尚法会、法律指導室という司法試験合格を目的とした団体があり、また、憲法、民法、刑法については、厚木キャンパスと青山キャンパスで合格者(弁護士)による指導ゼミが実施されています。合格者については、最近では卒業後比較的早い時期の合格が目立っていますが、受験者数が少ないために合格者数も1ケタにとどまっています。受験者に対する合格者比率は全国でも相当高いので、受験者の増加が望まれます。(法学部教授 土橋正)

## 公認会計士試験受験を力強くバックアップ。

1999年に実施された公認会計士試験第2次試験において、本学卒業生と在学生の合格者数は18名であり、全国の大学別の合格者ランキングでは13位でした。合格率7.7%の難関の試験であったことを考えるならば、本学の健闘ぶりがうかがえます。なお本学では、毎年4月に公認会計士の方に話をしていただく「公認会計士制度説明会」を開催し、また公認会計士や税理士を目指す学生達のために、厚木と青山の両キャンパスに「会計特別教室」を設けています。そして本学出身の職業会計人で構成される「青山会計人クラブ」からの支援もいただいています。(経営学部教授 齋藤真哉)

## 本学で実施している課外講座

- 公務員試験対策集中講座  
国家2種公務員採用試験とこれに準ずる国家公務員・地方上級公務員試験の受験を目指す学生を対象として、春期(3~4月)と夏期(9月)に、一般教養分野と専門試験を中心とした集中講座を実施しています。
- 税理士特別講座  
本学出身の税理士資格者を講師に招いて、「税理士試験」合格を目指し、必須科目である簿記や財務諸表論を中心とした講義と指導を行っています。
- 基礎ゼミナール講座  
司法試験や国家公務員試験などを目指す法学部学生を対象として、本学出身の弁護士を講師に招いた課外講座を、前期(5~7月)と後期(10月~12月)に実施。法律の見方・考え方、勉強の仕方を指導する「1・2年次のための法律入門講座(初級)」と、司法試験合格を目指した論文講義や答案作成練習などを行う「3・4年次のための論文指導講座(中級)」の2コースがあります。
- 法律指導室・尚法会  
司法試験合格を目指して法学研究を行っている勉強団体で、本学学生、卒業生であれば誰でも参加することができます。なお、毎年10月頃に入会の試験を行っています。
- 会計特別教室  
税理士および公認会計士などの受験を目指す学生を対象として、厚木キャンパス(1・2年次用)と青山キャンパス(3・4年次用)に、受験関連資料や専門雑誌を備えた会計特別教室を設置しています。
- 外交・国際公務等指導室  
外交官や国際公務員などを目指す学生を対象とした「外交・国際公務等指導室」を設置し、専任教員による特別講座や講演会など受験指導と勉学の助成を行っています。

# 校友会

1893(明治26年)年に設立された青山学院校友会は、本学の大学はもとより、幼稚園から、初等部、中等部、高等部、短大、大学院にいたるまでの青山学院の全ての卒業生を会員として組織されている社団法人です。

現在の会員数は約25万人で、その内15万人が大学の卒業生です。全国各地に48、欧米、アジアに14の支部があり、国内外へ移動する卒業生の大きな支えとなっています。

校友会定款には、「本会は会員間の友誼を篤くし、学校法人青山学院の発展に寄与することを目的とする。」と謳われており、母校の充実、発展のために様々な活動を行っています。年に2回の校友会総会、全国支部長会、各地の支部総会、各同窓会が主催するホームカミングデーやバザー、講演会も毎年多くの卒業生でにぎわいます。また、校友会は、青学会館に専用スペースを有しており、卒業生のための集會室4室が用意されています。

特に海外支部や、職域の青山会は、在校生にとっても留学や就職活動の際の身近で、頼りになる存在です。

●各支部の連絡先・集會室利用方法については校友会本部までお問い合わせください。

## 校友会本部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 青学会館2F  
 TEL 03-3409-8628 青山学院校友会本部事務局  
 03-3409-9773 (ダイヤルイン)  
 FAX03-3406-0683  
 E-mail: alumni@jm.aoyama.ac.jp

## 校友部

校友部では、大学卒業生の住所・氏名等のデータ管理、「大学卒業生名簿」の編纂・作成・発行、「青山学報」の定期購読者の受付、学院独自の特典を付加した「青山学院カード」の申込受付、「青山学院維持協力会」入会受付など、卒業生と学院との絆を強化するための事業を推進しております。

お問い合わせ並びに住所・氏名等の変更の連絡先  
 青山学院本部校友部(ウエスレーホール1階)  
 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
 TEL 03-3409-8111 (内線11302・11303)  
 03-3409-6645 (ダイヤルイン)  
 FAX03-5485-3616

国内		海外
札幌支部	長野支部	●アジア地区
函館支部	松本支部	香港支部
十勝帯広支部	岐阜県支部	韓国支部
青森県支部	静岡県東部支部	シンガポール支部
岩手県支部	静岡県中部支部	台湾支部
仙台支部	静岡県西部支部	
秋田県支部(開設準備中)	あいち支部	●北米地区
山形支部	三重県支部	カナダ・トロント支部
福島県支部	京都支部	バンクーバー支部
茨城中央支部	関西支部	ハワイ支部
栃木県支部	山陰支部	ロスアンゼルス支部
足利支部	岡山県支部	ニューヨーク支部
群馬県支部	広島県支部	サンフランシスコ支部
埼玉支部	山口県支部	
千葉県東葛支部	徳島支部	●南米地区
市川・船橋支部	高知県支部	ブラジル支部
中央支部	北九州支部	メキシコ支部
横浜支部	福岡支部	
湘南支部	佐賀県支部	●ヨーロッパ地区
神奈川西湘支部	長崎支部	ロンドン支部
新潟県支部	熊本支部	
富山県支部	大分支部	●オセアニア地区
金沢支部	宮崎県支部(開設準備中)	シドニー支部
福井支部	鹿児島支部	
山梨県支部	沖縄県支部	





# 青山学院の「建学の精神」は今

George W. Gish, Jr.

青山学院宣教師、宗教主事、大学教授（日本文化史）



1936年カンザス州生まれ、1958年エンボリア・カンザス州立大学卒業、1958年～1962年メソジスト教会短期宣教師（名古屋学院等）、1967年ミシガン大学大学院卒業（日本学）、1968年～現在まで合同メソジスト教会宣教師（AVACO芸術担当、日本キリスト教団広報担当、本多記念教会担任教師等を経て、1997年以降現職。

皆さんの目には青山学院はどんなふう映っているのでしょうか。

私の青山キャンパスの研究室はロータリーの真正面にある間島記念館の一階の一角にあります。その窓から、周辺の様子を度々眺めます。季節の移り変わりはよく目につきます。樹木の葉や花の色合いの変化に、ときの流れを感じ取ります。最近、一年があっという間に過ぎてしまうという感じがするようにもなりました。そして、年度末が近くなると教職員の足が早くなったり、期末試験の季節になると学生の足も普段より図書館へ向かって行くことが多くなっていくのがみえます。

しかし、毎朝の大学チャペルの時間となると、どういわけかその周りには人の姿が少なくなります。今の大学チャペルは、去年の夏から来年の新しいチャペルビルが出来るまでの間、元神学部の礼拝堂（現本部礼拝堂）で行われています。チャペルの中へ入って礼拝の時間になっても、精々十数名の学生や教職員しか集まってこない。この学院が125年前に創立した当時の数としてみれば悪くはないかもしれない。しかし、現在の2万人以上の大学としては、ちょっと寂しい数のような気がします。



研究室の窓から、又、学院の創立及び発展に貢献した宣教師や牧師たちの記念碑が並んでいるのが見えます。その中に1873年にメソジスト教会から最初に日本に派遣された二人の宣教師がいます。そして間島記念館の横に立っている青山学院日本人初代院長・日本メソジスト教会初代監督の本多庸一の銅像が彼らに向かって眺めています。

彼らは、今の青山学院の現状をどういふふう語り合っているのでしょうか。私たちが彼らに対してどのように報告できるでしょうか。そして、創立以来、青山学院のために派遣された200人以上の宣教師たちと長年犠牲的に献金を贈ってきた大勢の海外教会員たちもどんなふう私たちをみているのでしょうか。遠い日本の国に対してどういふ思いと期待があったらうか。

## 【日本文化との出会い】

42年前、来日したばかりの私は、ある質問をよく聞きました。「何故はるばるアメリカから日本までやってきたのか」と。確かに、今日の飛行機の数時間に比べて、当時の三週間ほどの貨物船の旅は長かった。その隔たりは、時間的なものだけではなく、文化的風土の相違も著しかった。自分か育ち身に付いた文化は、遠く離れてもその価値観等は一生ついて行きます。その上、異文化を完全に身に付けるには、一生かけても不可能に近い。しかし、その国、その文化の一人ひとりを心から愛することによって、その様々な相違の中には段々とその多様な豊かさが見えてくる。

日本に来てからこの文化を理解しようとする気持ちが益々強くなってきました。しかしながら、正直にいうと日本に来るとは夢にも思わず、当時メソジスト教会関係のヨーロッパの難民キャンプ救済活動に志願したものの、突然任地が地球反対側の日本に決まりました。この青山学院大学における私の仕事場にしても、自分が選んだところでもなく、三年前に突然頼まれて与えられた務めです。何を教えるか、何をするのか、いまだに戸惑いを感じるほどです。ただ毎日の出会いにおいて、教室や研究室の中の学生との出会い、各会議や事務所における教職員との出会いを通して真剣に学び合うことが非常に楽しいです。その中であって、今まで日本の文化に関する研究、特に日本の音楽及び宗教の課題が深められる機会が与えられたことを深く感謝しています。

おそらく、この感謝の気持ちが各々の宣教師に通ずるものと思います。私たち「宣教師」と言われている人にしても、どんなに「知識」があっても、どんなに素晴らしい「信仰」があっても、どんなに一所懸命に人のために「奉仕」を尽くしても、「愛がなければ、わたしは騒がしい『どら』、やかましいシンバル、私に何の益もない、無に等しい。」【コリントの信徒への第一の手紙13章】



この言葉を書いたパウロは、ほぼ2000年前のキリスト教の最初の宣教師でした。彼は、当時の知識人の中の知識人であったにも関わらず、同じ手紙の8章には、次のことを記しました。「知識は人を高ぶらせるが、愛は人を造り上げる。」この「missionary spirit」は、私たち宣教師だけの精神ではありません。

これは、青山学院の建学の精神でもあります。だからこそ、青山学院大学も、「mission」系の教育機関である以上、その愛に基づいている教育を行う「mission school」であるべきです。この「mission」の志しを共にした大勢の日本人の協力者も、学院の125年の歴史を通して、今も一貫してイエスの出会いにおいて与えられた「愛の精神」を大事に活かして伝えられました。

元青山学院院長阿部義宗の『遺稿集』による「ダイヤモンドには、それを入れる立派な箱も、また包装紙も、そしてまたきれいなリボンも必要でありましょう。しかしながら、ダイヤモンドの値打ちは、箱の中にサンとして輝くところのダイヤモンドであります。」という表現には、大切な教えがあります。青山学院大学の本当の値打ちは、栄光に満ちた過去にも、将来の立派な建物や設備にもありません。不可欠なのは、私たちが愛に基づく思いやりの心を養うことです。そして、AGUから学生が社会と世界に出かけて行くところには、その「愛の輝き」があれば、そこには青山学院の建学の精神である「mission spirit」が生き続けられるのです。

AGUにおけるすべての教育、すべての知識が、他者のために活かされるものであれば、私たちの勉強と研究はこの世を照らす「愛の輝き」に変わっていきます。

This is the Aoyama Spirit.  
**GIVE YOUR BEST IN LOVE  
FOR OTHERS!**



# 2000年度公開講座

●各講座の申込方法等詳細な内容を記載したガイドブックをご希望の方は「青山キャンパス」公開講座担当までお問い合わせください。

## 青山キャンパス

### 前期 国際情勢と歴史

- 6/17(土) ●**転換期のラテンアメリカ**  
—ポスト冷戦と市場グローバル化のインパクト—  
文学部教授 加茂 雄三
- 6/24(土) ●**オーストラリアの歴史と民族**  
—教育の保障の視点から—  
文学部教授 笹森 健
- 7/1(土) ●**1950年代以降の貿易と環境の動向**  
—国際貿易のルールから—  
経営学部教授 岩田 伸人
- 7/8(土) ●**ケルトの国に吹く風**  
—アイルランド共和国の現在—  
経営学部教授 九頭見 一士
- 7/15(土) ●**東南アジア国際的枠組みの変化**  
(インドネシア変動後のアセアン)と日本  
国際政治経済学部教授 渡辺 泰造
- 時間・場所: 15:00~16:30 青山学院大学青山キャンパス  
申込期間: 5/19(金)~6/2(金) 必着

### 後期 ボーダレス時代の金融

※ガイドブックを参照してください。

- 9/29(金)~10/20(金) 毎週金曜日開講  
申込期間: 9/1(金)~9/14(木) 必着
- 申込先: 〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25  
青山学院大学学務部教務課公開講座担当 Tel03-3409-8111(内線12278)

## 世田谷キャンパス

### 実験・実習講座「5日間インターネットの旅」

- 経営システム工学科助教 石津 昌平  
情報テクノロジー学科助教 稲積 宏誠
- お手軽インターネットの旅コース  
5/13(土) ●インターネットクルーズとお手軽ページの作り方  
5/20(土) ●自分らしいページを作ろう

少しがめのJavaインターネットの旅コース  
5/27(土) ●Javaカフェ味わいの旅  
6/3(土) ●オリジナルブレンドJavaの作り方  
6/10(土) ●Javaの香り漂うページを作ろう

時間・場所: 13:30~16:00 青山学院大学世田谷キャンパス  
申込期間: 4/3(月)~4/22(土) 必着

申込先: 〒157-8572 世田谷区千歳台6-16-1  
青山学院大学理工学部庶務課庶務係 Tel03-5384-1869(ダイヤルイン)

## 厚木キャンパス

### Let's enjoy sports life

- 10/7(土)~11/4(土) 土曜日開講 14:00~16:00  
●Aコース 初心者テニス教室 文学部助教 井上 直子  
12/2(土)~12/16(土) 土曜日開講 14:00~17:00  
●Bコース フットサル教室 経営学部助教 宮崎 純一・他  
10/21(土) 13:30~15:00  
●Cコース スポーツの事故と安全 文学部教授 赤井 利男
- 申込期間: 各コースとも9/8(金)~9/22(金)
- 申込先: 〒243-0123 厚木市森の里青山1-1  
青山学院大学厚木事務部庶務課庶務係 Tel046-248-1221(内線32222-32223)

## 渋谷区共催公開講座

### 前期 アジアの歴史と現在

- 5/13(土) ●**アジアの経済発展と通貨金融危機**  
—問われる日本の役割—  
経済学部助教 深川 由起子
- 5/20(土) ●**宣教師が伝えた近代科学**  
女子短期大学教養学科助教 八耳 俊文
- 5/27(土) ●**カンボジアと我が国との関係**  
外務省参事官 篠原 勝弘
- 6/3(土) ●**アジア的価値の終焉?**  
—21世紀アジアのアイデンティティ—  
国際政治経済学部教授 押村 高
- 6/10(土) ●**朝鮮民族の社会と文化**  
経営学部助教 末 連玉
- 時間・場所: 15:00~16:30 青山学院大学青山キャンパス  
申込期間: 4/17(月)~

### 後期 福祉・医療・介護

※ガイドブックを参照してください。

- 11/10(金)~12/8(金) 毎週金曜日開講  
申込期間: 10/16(月)~
- 申込先: 〒150-8010 渋谷区宇田川町1-1  
渋谷区教育委員会社会教育課社会教育係 Tel03-3463-1234(内線2842・2845)

## 公開講演会愛知県名古屋市

会場●ホテルキャッスルプラザ

- 10/29(日) 午前の部10:30~12:00 午後の部13:30~15:15  
●デジタル社会の著作権 ●地球温暖化を考える  
法学部教授 半田 正夫 経済学部教授 熊谷 彰矩
- 申込期間: 9/25(月)~10/13(金)
- 申込先: 〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25  
青山学院大学学務部教務課公開講座担当 Tel03-3409-8111(内線12278)

## 奨学金募集案内

奨学金制度の目的は、何らかの経済的理由で修学が困難な学生、あるいは家庭の事情などで学費が不十分になった学生に対して、一定の金額を給付あるいは貸与することで、修学できる環境を整えることです。奨学金の概略は次のとおりです。

### 日本育英会奨学金

日本育英会は、国の育英奨学機関です。無利子の第1種奨学金と、有利子のきぼう21プラン奨学金があります。

### 青山学院万代奨学金

前途有望な学生で経済上の理由により修学困難な者に無利子で貸与される奨学金です。

### 青山学院大学給付奨学金

本大学の学部所属する2年次以上の学生で、前年次において卓越した学業成績をあげ、かつ人物ともにきわめて優秀と認められる者に対し、奨学金(年額30万円)を給付するものです。

### 青山学院大学外国人留学生給付奨学金

本大学に在籍する日本以外の国籍を有する学部私費留学生で、学業成績および人物ともにきわめて優

秀と認められる者に対し、奨学金(年額30万円)を給付するものです。

○その他地方公共団体や民間育英団体の奨学金があります。いずれも募集時期は4~5月が最も多く、募集依頼が大学に来た時点で掲示により募集します。

○奨学金についての問い合わせ先

青山キャンパス

学生部厚生課 Tel 03-3409-8111(内線12434)

第二部学生課 Tel 03-3409-8111(内線12228)

世田谷キャンパス学生課 Tel 03-5384-1111(内線23311)

厚木キャンパス学生課 Tel 046-248-1221(内線32241)

## 首都圏父母懇談会

父母懇談会は、大学後援会事業の一環として、ご父母の皆様からご子女の大学生活等についてのご相談等をうかがい、それを大学運営に反映させることを目的に実施しております。

首都圏在住の3年次生のご父母を対象とした2000年度首都圏父母懇談会の日程は、右表のとおりです。対象の方には4月以降に順次詳細をご通知いたします。東日本地区で実施する2000年度地区父母懇談会日程は次号でお知らせする予定です。

東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県にお住まいの3年次生のご父母を対象

対象学部・学年	開催日
国際政治経済学部3年	5月20日(土)
法学部3年	6月3日(土)
経営学部3年	6月17日(土)
経済学部3年	6月24日(土)
文学部3年	7月1日(土)
理工学部3年	10月14日(土)



## AGUニュース創刊について

青山学院大学では、従来の「大学だより」に変え、掲載内容および誌面をリニューアルした新学内広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行に向けて準備してまいりましたが、この度、創刊号を発行する運びとなりました。

あわせて、本学ホームページには「AGU News

on Web」を開設いたします。ここでは、「AGUニュース」の内容を抜粋して掲載するとともに、タイムリーなニュースを簡潔な文字情報で週ごとにお知らせする「Weekly AOYAMA」ページも設けておりますので是非ご覧ください。

さらに「Weekly AOYAMA」は、2週分のニュースの中から主要なものを抜粋し、「AGUニュースレター」として印刷。在学生を対象に学内事務所

口、パンフレットスタンドにて配布いたします。大学は今後、「AGUニュース」を通して在学生、ご父母、教職員、学外の方々など、多くの方にニュースを発信できるよう、掲載内容の充実に努めてまいります。

広報入試センター広報課

AGU News on Web  
<http://www.aoyama.ac.jp/agunews>